

義援金のお礼に小学生の寄せ書きなどを手渡す
 箭田地区の住民＝28日、福井市四ツ井公園



福井市



社会部

☎ 0776(57)5117

FAX0776(57)5145

義援金ありがとう

岡山・真備の豪雨被災者 日之出地区を訪問

2018年の西日本豪雨で大規模な水害に見舞われた岡山県倉敷市真備町地区にある箭田地区の住民が28日、15年間交流を続けている福井市日之出地区を訪れ、義援金をもたらったお礼をした。住民は「全てを失った私たちに希望を与えてくれた」と感謝した。

両地区は、04年10月に福井市であった「まちづくり全国交流大会」で交流を始め、年度ごとに交互に訪問するなど親交を深めている。18年7月に起きた西日本豪雨では、日之出地区

のひのでまちづくり協議会が義援金を持って現地へ赴き、被災者に希望をもたらした。

この日は箭田地区まちづくり推進協議会の山口敦志会長(76)ら7人が、日之出地区の夏祭りに合わせて訪問した。約300人の地域住民を前に、山口会長は「どれだけ助けられたか分からない。完全な復興まで時間はかかるが、頑張ってください」と力強く誓った。お礼として、交流の様子を描いた絵を添えた箭田小児童の寄せ書きなどを贈った。

ひのでまちづくり協議会の山田利克会長(56)は「復興への思いを聞き感動した。これからもできるだけ交流を続けたい」と話していた。

岡山県によると、7月5日時点で西日本豪雨による倉敷市の住家全壊数は4646棟、死者62人。今も6845人が仮設住宅で暮らしている。

(北川龍次)